

巻頭の辞

(Appreciating Contributions of Professor Shinichi Shimada)

学 長 島 田 晴 雄

島田眞一先生の退職記念号の発刊にあたり、島田先生の千葉商科大学への多大な御貢献に対し、学長として心から謝意を表したいと思えます。

島田先生は、長年国税庁のお仕事をされた後、公認会計士の資格を取られ、平成12年4月からは日本公認会計士協会調査企画局局長（リサーチ・センター担当）を務められました。

本学には会計ファイナンス研究科の設置当初から専任教員としてご就任いただいておりますが、会計ファイナンス研究科を立ち上げるにあたり、島田先生には具体的にカリキュラムをどのように組んでいくかなどについて、貴重なご指導をいただいたと関係者から聞き及んでおります。島田先生の多大なるご支援に支えられて、会計ファイナンス研究科は無事にスタートを切ることができたと言っても過言ではありません。

専門職大学院では、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことをその教育目的としていることから、実務家教員の方のお力をお借りすることが大変重要です。本学会計ファイナンス研究科においても同様で、島田先生には実務家教員のお一人として実社会をふまえた実践的な教育を行っていただいておりますが、学生にとってはこれが大変貴重な講義となっています。例えば、各国で国際財務報告基準（IFRS）の導入が叫ばれ、我が国でも導入が検討されましたが、島田先生は会計基準に精通されていますので、いち早く国際財務報告基準（IFRS）をテーマにした授業を行われました。また、会計監査は実学であるとして、事例研究（会計監査）という授業では実際に企業で起きた粉飾事件を題材に、実際の会計監査の現場で適用される会計基準と監査基準を一体として有機的に結びつけることを教えられています。

島田先生は、正に本学の伝統である実学を実践してくださり、本学会計ファイナンス研究科から多くの高度な専門職業人の輩出に貢献していただきました。今後も

会計ファイナンス研究科の発展を見守って戴き，後輩達の指導に温かい御支援を戴ければと心より願っております。